

17. 副腎腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	泌尿器科	2	2	状況	○	○	尿路悪性腫瘍(前立腺癌、膀胱癌に代表される尿路上皮腫瘍、腎腫瘍、精巣腫瘍)に対して、手術、化学療法など多くの治療実績をもっています。	ア	診療科・各部署紹介(泌尿器科) http://www.misugikai.jp/satou_h/urology.html	掲載なし	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし		イ	http://			
2	放射線治療科	2	2	状況	×	×	現時点で最先端の性能をもつ治療装置で、がん病巣にピンポイントで照射でき、治療効果をあげています。	ア	高精度放射線治療センター http://www.misugikai.jp/riniac/index.html	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし		イ	http://			
3				状況				ア	http://			
				実績				イ	http://			
4				状況				ア	http://			
				実績				イ	http://			
5				状況				ア	http://			
				実績				イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 褐色細胞腫、副腎皮質がん
------------------------------------	-----------------